



宮古労基署ニュース

宮古労働基準監督署 署長 下村 健治

令和5年10月1日付けで宮古労働基準監督署長を拝命しました下村と申します。微力ながら、宮古・下閉伊地域の労働者の労働条件確保・改善、労働災害防止、迅速かつ適正な労災保険給付などに取り組んで参りますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、11月は「過労死等防止啓発月間」です。「過労死等」というと別世界の話のように思う方もいらっしゃるかもしれませんが、昨年度の過労死等の労災補償状況によりますと、死亡・自殺(未遂を含む)に限っても、全国で121件の支給決定がありました。労働時間の状況等によっては、「過労死等」は起こり得ることですので、長時間労働削減に向け、労使の主体的な取組をお願いいたします。

第14次労働災害防止計画に関して

・令和5年度から5年間、第14次労働災害防止計画に基づき、重点的に取り組むべき事項を明確にして、労働災害防止対策の取り組みを促進します。

宮古労働基準監督署では、5項目を重点事項として取り組みの促進を行います。

- ①行動災害(転倒、腰痛)対策への取り組み
- ②製造業における機械によるはさまれ巻き込まれ災害防止の取り組み
- ③建設業における墜落転落災害防止のリスクアセスメントの取り組み
- ④道路貨物運送業における荷役作業における安全ガイドラインの措置の取り組み
- ⑤林業における伐木作業の安全ガイドラインの措置の取り組み

・労基署ニュースにおいても、上記5項目を順番に特集し、取り組みの促進を行う予定としておりますので、皆様ご確認いただき、参考にしてください。

林業における伐木作業の安全ガイドラインの措置の取り組み

林業における労働災害を防止するため、「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」が示されており、このガイドラインに基づいて自社の取り組みを点検していただきたいと思います。

内容としては、保護具・保護衣の着用(下肢の切創防止用保護具の着用等)、安全なチェーンソーの取扱い、作業計画の策定、安全な伐木作業の徹底(伐倒する木の樹高の2倍以上の範囲立入禁止、安全なかかり木処理の徹底)、安全な造林作業の徹底(転落滑落のおそれのある伐倒木等の固定の徹底)などが定められています。

※裏面に好事例を紹介しています!



「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」本文はコチラ

事業場における取り組み例（好事例）



戸田建設株式会社 SGET岩泉ウインドファーム建設工事

風力発電施設の建設予定箇所について、事前に伐木作業等のチェーンソーによる作業を行う必要があるため、「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」に沿って必要な対策を講じた上で作業を行うこととしています。

まず、伐採作業を開始する前に、危険事前検討会を開催し、伐木作業の安全ガイドラインに沿った作業手順書を作成し、作業員全員に対して周知を行うこととしています。



伐木作業手順書(リスクアセスメント) 2023.9.27

作業区分	作業内容	危険-有害要因(予見可能な危険)	発生確率	被害程度	リスク	対策	実施状況
事前準備	1. 現場確認	作業範囲の境界線が不明瞭な場合	低	軽傷	低	作業範囲の境界線を明確にする	完了
	2. 作業計画の作成	作業計画が不明確な場合	低	軽傷	低	作業計画を明確にする	完了
	3. 作業員への周知	作業員が作業計画を理解していない場合	低	軽傷	低	作業員に対して作業計画を周知する	完了
作業中	1. 伐木作業	チェーンソーの刃が周囲の作業員や機械に当たる	中	重傷	中	作業員間の安全距離を確保する	完了
	2. 車両系伐木機械の操作	車両系伐木機械の操作ミスによる事故	中	重傷	中	作業員に安全運転を指導する	完了
	3. 倒木の処理	倒木の処理ミスによる事故	中	重傷	中	倒木の処理方法を事前に確認する	完了
作業後	1. 現場の片付け	現場の片付けミスによる事故	低	軽傷	低	現場の片付け作業を徹底する	完了
	2. 作業完了の確認	作業完了の確認ミスによる事故	低	軽傷	低	作業完了の確認作業を徹底する	完了
	3. 現場の復旧	現場の復旧ミスによる事故	低	軽傷	低	現場の復旧作業を徹底する	完了

チェーンソーによる伐木・造材及び倒木処理機材の安全に関する作業計画書

作業区分	作業内容	危険-有害要因	発生確率	被害程度	リスク	対策	実施状況
事前準備	現場確認	作業範囲の境界線が不明瞭な場合	低	軽傷	低	作業範囲の境界線を明確にする	完了
作業中	伐木作業	チェーンソーの刃が周囲の作業員や機械に当たる	中	重傷	中	作業員間の安全距離を確保する	完了
作業後	現場の片付け	現場の片付けミスによる事故	低	軽傷	低	現場の片付け作業を徹底する	完了

作業計画書の作成と現場での活用

作業区分	作業内容	危険-有害要因	発生確率	被害程度	リスク	対策	実施状況
事前準備	現場確認	作業範囲の境界線が不明瞭な場合	低	軽傷	低	作業範囲の境界線を明確にする	完了
作業中	伐木作業	チェーンソーの刃が周囲の作業員や機械に当たる	中	重傷	中	作業員間の安全距離を確保する	完了
作業後	現場の片付け	現場の片付けミスによる事故	低	軽傷	低	現場の片付け作業を徹底する	完了

実際の伐木作業開始時には、該当作業に関する作業計画書（伐木、車両系伐木機械、振動工具に関するもの等）を作成して見やすい場所に掲示した上、各作業員との作業打ち合わせで説明することとしています。



事前のこれらの対策に加えて、実際に作業を行った後に、見直し会や再周知会を開催することで、計画を実行性のあるものへとつなげています。

皆様も好事例を参考にして自社の取り組みを強化しましょう！